

# たかみらいふ!

～「たかみ」「みらい」「らifu」～



文責：コミュニティ・スクール推進員 大空 秀文

「たかみらいふ!」は、高美が丘小・中学校と地域のつながりをさらに深め、「学校づくり」、「地域づくり」、「自分づくり」を推進するために、コミュニティ・スクールである高美が丘小・中学校について、このまちで暮らす皆様に発信するために作成しています。タイトル「たかみらいふ!」には、「高美が丘小・中学校を意味する「たかみ」「まちの未来を意味する「みらい」「地域での生活を意味する「らifu」という言葉があり、高美が丘小・中学校と地域がさらにつながり、輝く未来を生きたいこう!という思いがあります。高美が丘小・中学校HP、高美が丘地域センターでカラー版掲載中!

## 地域の方の「声」を聴いて 第3回学校運営協議会

「たかみらいふ!」第10号では、第3回学校運営協議会と地域学校協働活動の「ロボット講座」についてご紹介します。

○第3回学校運営協議会 開催 ～熟議(熟慮と討議)を通してつながる～

11月27日(金)に高美が丘中学校で、第3回学校運営協議会がありました。協議の内容は高美が丘小・中学校の中間評価でした。学校運営協議会は、学校と地域の結びつきをより深め、「地域とともにある学校」を実現させていく役割を持ちますが、高美が丘小・中学校の学校運営協議会はこれに加え、学校外による学校評価を行う役割もあります。学校外による評価の意義として挙げられることは、①学校活動をより客観的に評価すること、②学校外の視点から学校活動に意見を述べてもらい、今後の学校の発展につなぐことです。また、学校にとっては、保護者や地域の方へ”公教育としての教育活動”を行っている説明責任を果たして、学校の透明性を高め、保護者や地域の方の学校に対する理解や協力を図ることにおいてとても重要です。

今回の協議会では、高美が丘小・中学校が年度初めに作成した自己評価表をもとに、以下のことについて協議会の委員の方と各学校の学校長・教頭の間で熟議がなされました。

### 高美が丘中学校



- ・コロナ禍における生徒の学習状況について
- ・「GIGA スクール」に向けた取組について
- ・「寄り添い・かかわりきる生徒指導」について
- ・信頼される学校・地域の要となる学校について

### 高美が丘小学校



- ・児童の学習状況・教員の授業実践について
- ・「高美っ子3スター」の実施状況について
- ・コミュニティ・スクールの推進状況について
- ・教職員の働き方改革について

### 学校運営協議会の方々の意見



- ・休業明けに比べて、挨拶をする子が増えた。
- ・「GIGA スクール」に向けて保護者もタブレットを道具として使えるようにしなくてはいけないと思う。
- ・コロナ禍で時間が限られるなか、よくやっておられる。

- ・タブレットで、子どもたちの学習はどう変わるか?
- ・場所によっては挨拶がない子がいるので、大人からも挨拶をしていかなくてはと思う。
- ・新型コロナウイルス・インフルエンザ予防のための学校の管理体制をさらに気を付けてほしい。
- ・こんな世の中だからこそ、将来に生きる力の育成が必要である。

協議会ではその他に、学校と地域が協働して行う今後の取組についての熟議や、コミュニティ・スクール推進員による県内の先進的なコミュニティ・スクールの取組に関する説明などが行われました。



## 子どもたちの「声」に応じて!ロボット講座開催

○ロボット講座 開催 ～子どもたちの「やってみたい」を始まりにしてつながる～

9月24日(木)に、高美が丘小学校で「高美が丘サミット2020」が開催されました。

今年度のテーマは、高美が丘小学校の学校教育目標である『行くのが楽しくなる学校』を考えるで、各学年に分かれ「学校や地域でどんなことを学びたいか」、「自分たちはどんなことができるようになりたいか」などを考えていきました。全学年を通して、子どもたちから、「あいさついっぱい学校にしたい」、「地域について知りたい・地域の役に立ちたい」等、これまでの取組をさらに向上させたいという意見が多数出てきました。

〈「高美が丘サミット2020」の様子〉



しかしそのようななか、中学年・高学年の子どもたちから「ロボットを作ってみよう」という意見が出てきたのです。これは、子どもたち自身にどんなことを学びたいかを考えてもらったからこそ知ることができました。子どもたちの「ロボットを作ってみよう」という希望を実現するため、コミュニティ・スクール推進員と地域学校協働活動推進員が学校と地域の窓口となり、講師を招聘し、地域センターの研修室をお借りすることで「ロボット講座」の開催に至ることができました。本講座では、遊びを交えた電子回路制作を通して、現代社会や日常生活のなかにあるロボットに対する探究心を育むことを目指しています。

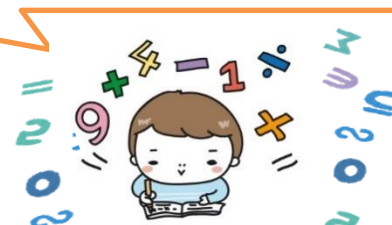


コミュニティ・スクール推進員 大空  
地域学校協働活動推進員 檜山 より

今回のロボット講座は、子どもたちの“やってみたい”から始まり、それを学校と地域が協働することで実現することができました。限りのある学校の資源や時間のみで教育活動を行うだけでなく、地域とともに学校づくりやまちづくりのビジョンを共有し、協働していくことで子どもたちの成長、延いては大人やまちの成長につながっていくのではないのでしょうか。

### ロボット講座のお知らせ

**ロボット講座 講師の梶浦です**  
**「ロボット」ってどうやってできている? まほうかな?**  
**正解は1月にある講座で確かめてください。**  
**私は、この講座が、みなさんが人生で出会う「まほう」の第一歩になればいいなと思います。**



主催：高美が丘小・中学校コミュニティ・スクール、高美が丘地域センター

### ロボットはどうやって気がつくの? げんだいのまほう講座

1回目：1月9日(土) 13:30~15:30 高美が丘地域センター  
2回目：1月16日(土) 13:30~15:30 (研修室)

「高美が丘サミット」での子どもたちの意見を実現!ロボット講座開催!!

自動運転する車、音声案内してくれるスマートフォン、夜になると点灯する明り。これらは、さまざまなロボットが働くことで、まるで人のように見たり聴いたり感じたりするように見えます。

では、なぜそのようなことができるのでしょうか。それは、まほうなのでしょうか。私たちの身近にあるけど、よくわからないロボットについて、遊びながら一緒に考えてみませんか?

1回目 2回目

・魔法使いの魔法にこっこ  
・電子回路制作(ロボットのしくみ)

申し込み用紙

おお客様の名前・学年 年

電話番号

保護者同伴

する・しない

〒1500-0191 東京都目黒区中目黒1-1-1 高美が丘地域センター  
TEL/FAX 03(82)434-9500